



コラムニスト小田嶋隆さんの 【文章表現ワークショップ】

講師 コラムニスト **小田嶋 隆** Takashi Odajima

文章を書くということは、いつだって挑戦である

私は長くコラムを書いている。コラムとは、ある程度定められた枠内で自分の思いを主張する文章だ。ならば、書き方のコツといったものを会得しているのではないかと期待されるのだが、文章の書き方とはそう簡単に明示できるものではない。なぜなら、文章を書くということは、書き手の価値観や人生観と直結する行為であり、いつだって挑戦であるはずだからだ。

だから、このワークショップでは慣れや手順から生まれるのではない「自分らしい文章」にこだわって徹底的に考え、さまざまな表現方法に触れていく。

文章を書くという挑戦を、楽しもうではないか。

小田嶋隆

4/12 ㊦

第1回

14:00～17:00

要約と把握 —描写力を鍛える

はじめに、文章を書くことへの苦手意識や恐怖を克服するために、描写力すなわち「書き起こす」力を鍛えよう。大切にしている自分の想いも、素晴らしいアイデアも、うまく外に出すことができないから、悩み、ストレスに感じるのである。文章は、習得の困難な技芸ではない。一定の描写力が身につくと、書くことはおのずと楽しくなる。

課題 要約文を書く

5/31 ㊦

第4回

14:00～17:00

表現の幅を広げる —会話体の魅力

文章における会話文は、ある種の無法地帯だ。会話中の言葉は、文章の中のそれより感覚的で、自由であり、結論を気にせずに展開だけを楽しめるといった魅力がある。文章を賦活するスパイスとなるような、適切な会話体の用い方を理解する。

課題 会話体を交えた文章を書く

4/26 ㊦

第2回

14:00～17:00

手紙を書く —一人に向けた表現

文章は、読み手が限定されればされるほど、その文章には書き手の伝えたいこと、相手への理解、両者の関係性がくっきりと浮かび上がってくる。自分の言いたいことをそのまま書くのではなく、相手に伝わるように配慮した文章を書くことで、伝わる表現とはなにかを体感する。

課題 手紙を書く

6/14 ㊦

第5回

14:00～17:00

そぎ落とし、凝縮する —思わぬ表現との出会い

すぐれた文章、個性的な文章を書くために欠かせない要素の一つに「創造性」がある。創造性は、批評的な態度を捨て、書くための「アタマ」になりきり、ときに独善にいたるほどに独創的になることで、豊かになる。常識的な語法や理性的な表現、保守的な見解を超えた文章に触れ、自分の創造性を引き出す。

課題 キャッチフレーズを考える

5/10 ㊦

第3回

14:00～17:00

思い出を書く —記憶は個性の宝庫

あなたが好きだと思う、魅力的だと感じる文章はどのような文章だろうか。テーマ、視点、言葉遣い、リズムなど、いろいろな要素があるだろう。読み手が魅力的だと感じる文章には、必ず個性がある。ではその個性はどこから生まれるのだろうか？自分らしい文章に欠かせない、記憶という宝の山から掘り起こそう。

課題 ○○時代の思い出を書く

6/28 ㊦

第6回

14:00～17:00

レビューを書く —人を動かす文章とは

よい文章には一定の技巧と、読み手を納得させるに足るアイデアがなくしてはならない。最終回は、描写力と創造力を発揮して、読み手の心を打つ自分らしい文章に挑戦してもらおう。

課題 レビューを書く

人気コラムニストがガイドする「自分らしい文章」

テレビ、スポーツ、政治、ビジネス・・・世の中のありとあらゆる事象に、独自の視点と鋭い分析力、そしてユーモアを忘れない文章で対峙する人気コラムニスト小田嶋隆さんと、一人ひとりの個性が発揮された自分らしい文章をめざします。30年以上にわたって物を書き続けてきたことから得られた「書くことの効用」も実感していただきます。

書くことで本来のコミュニケーションを学ぶ

よい文章は、優れたコミュニケーションツールでもあります。自分の頭で考え、自分の言葉で語ることは、文章に限らず、プレゼンテーションから日常会話まで、あらゆるコミュニケーションに役立ちます。

開 催 概 要

日 程	2014年4/12、4/26、5/10、5/31、6/14、6/28 (すべて土曜日)
回 数	6回
時 間	14:00 ~ 17:00 (3時間)
定 員	24名
会 場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	108,000円(消費税8%込)
お勧め したい方	・文章力を伸ばしたい、鍛えたい方 ・文章表現をきっかけに、コミュニケーション・プレゼンテーションの力を高めたい方 ・自己理解を深め、「物を書くこと」の効用を実感したい方

講 師 プ ロ フ ィ ー ル

小田嶋 隆(おだじま たかし)

1956年生まれ。東京・赤羽出身。早稲田大学卒業後、食品メーカーに入社。1年ほどで退社後、小学校事務員見習い、ラジオ局ADなどを経てテクニカルライターとなり、現在はひきこもり系コラムニストとして活躍中。2008年から日経ビジネスオンライン「小田嶋隆の『ア・ピース・オブ・警句』」を連載中。浦和レッズファン。

●主な著書

『ポエムに万歳!』(新潮社)、『場末の文体論』(日経BP社)、『小田嶋隆のコラム道』(ミシマ社)、『地雷を踏む勇氣』、『もっと地雷を踏む勇氣』(技術評論社)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

参加者

講座名	□ agoraメンバーシップに申し込む	
会社・団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	□ 自宅 □ 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはなりません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。 ◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。 ◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。 ◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報のご提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。
http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html
なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

支払方法

支払名義	□ 個人 □ 法人
支払方法	□ 銀行振込(振込手数料ご負担下さい) □ クレジットカード

割引制度 (個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい [] <input type="checkbox"/> 継続受講割引 <input type="checkbox"/> 慶應カード割引
--

■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(「夕学五十講」を除く。)
◆20%割引:108,000円(税込)以上の、「agora」および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合
◆10%割引:上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合
【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)過去に法人名義で参加された方も、個人で申し込む場合は対象となります。
【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

■割引制度(法人)

「agora」およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2
三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111
E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いします。